

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、
 地域に必要な基幹的中心的な医療を
 担当すると共に、さらに高次の医療に
 対応できるよう努力します。

2020 Spring Vol.061

編集：広報委員会・広報課
 印刷：有限会社 アクト
 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
 TEL.075-391-5811(代)

産寧坂 (撮影 堀居 恭子)



許可病床数

●557床 (一般545床：結核12床)

診療科目

- 一般内科 ●血液内科 ●糖尿病・内分泌内科
- 腎臓内科 ●膠原病・リウマチ科 ●化学療法内科
- 心臓血管センター (心臓血管内科・心臓血管外科)
- 消化器センター (消化器内科・外科) ●乳腺科
- 呼吸器センター (呼吸器内科・呼吸器外科)
- 脳卒中センター (脳神経内科・脳神経外科)
- 整形外科 ●形成外科 ●泌尿器科 ●産婦人科 ●眼科
- 耳鼻咽喉科 ●皮膚科 ●小児科 ●緩和ケア科
- 精神科 ●リハビリテーション科 ●腫瘍内科
- ペインクリニック科 ●放射線科 ●麻酔科 ●救急科

●血液浄化センター ●健康管理センター

●京都桂臨床医学研究所(臨床試験センター) ●保育所

併設施設

- 京都桂看護専門学校 (全日制3年課程)
- 訪問看護ステーション「桂」

関連施設

- 西陣病院 ●京都からすま病院 ●にしがも透析クリニック
- 京都厚生園 ●京都桂川園 ●にしがも舟山庵
- 北野保育園 ●二条保育園 ●昭和保育園 ●つばさ園
- ももの木学園 ●松陽児童館 ●ライフ・イン京都



交通のご案内

- ▶市バス
 73系統(京都駅～洛西バスターミナル)
 29系統(四條烏丸～洛西バスターミナル)
 69系統(二条駅西口～阪急桂駅東口)
 それぞれ「千代原口」下車、徒歩約10分
- ▶京阪京都交通バス
 21、27系統(京都駅～桂坂中央)
 「千代原口」下車、徒歩約10分
- ▶阪急電鉄
 京都線「桂駅」下車
 (西口)西へ約1.7km
- ▶病院専用送迎バス(約15分)
 「阪急桂駅」及び「JR桂川駅」からは
 送迎バスを無料でご利用いただけます。
- ▶JR桂川駅
 送迎バスのりば
 (阪急桂駅西口の
 送迎バスのりばは、
 上記地図を参照
 してください。)

Index

| | |
|-------------------------------------|---|
| ホスピタルインフォメーション | 2 |
| GH棟 新棟完成に期待する事 ~センター機能の集約・充実を~ | |
| かつらそらまめ教室④〈最終回〉 | 3 |
| 専門医がお答えします - 第51回 | 4 |
| 産科病棟がリニューアルオープンしました | |
| 急性期におけるリハビリテーションを安全に 提供するための取り組み | 5 |
| ナースの広場 | 6 |
| 慢性心不全看護認定看護師の役割 | |
| 連携医ネットワーク | 6 |
| 当院の医師・職員紹介 | 7 |



社会福祉法人 京都社会事業財団
京都桂病院
<http://www.katsura.com>

かつら そらまめ教室④

最終回

《Total renal care》 (包括的腎臓ケア)

腎臓内科部長 兼
血液浄化センター長
宮田 仁美

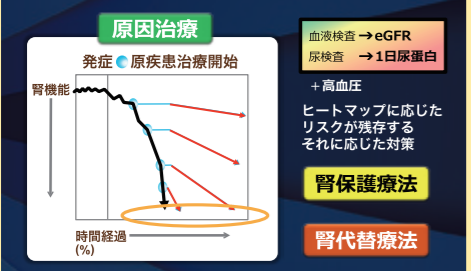


糖尿病性腎症予防チームです

いよいよ、最終回です。今年の冬は暖冬で、梅も桜も早くに見ごろを迎えました。そして新型コロナウィルスのことで多くの方々が心配されていると思います。毎年3月第2木曜日は世界腎臓デーとして腎臓病啓発の催しが各地で開催されますが、今回は感染拡大抑制のため京都府下の世界腎臓デーの催しだけでなく、当院のかつらそらまめ教室も中止させていただきました。慢性腎臓病の方は、外敵からの防御能が低下しており、他臓器の病状

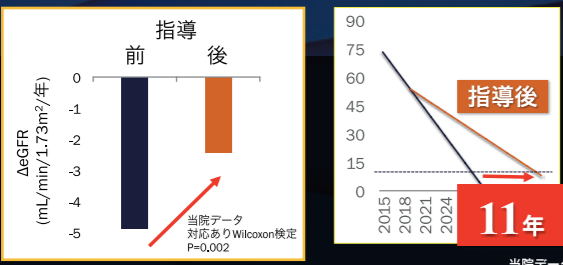
が悪化すると腎臓病が一気に進むことがあります。常に手洗い・うがいを心がけて予防に努めてください。今回は、腎臓病を進行させないために当院で取り組んでいる多職種チームでの取り組みをご紹介します。腎臓内科では、季節ごとに一般向けのそらまめ教室を開催していますが、加えて慢性腎臓病検査教育入院を行っています。さらに、糖尿病性腎症と診断された患者さんを対象にして糖尿病内科とともに糖尿病性腎症予防プログラムを実践しています。腎臓病が進行して腎不全という状態になると腎不全治療として腎代替療法（透析や腎移植）が必要になることはご存じだと思います。慢性腎臓病と診断された方の願いは、自分の人生が最期を迎えるまで腎代替療法にお世話にならなくても済むような生活を送ることです。また慢性腎臓病と診断された方は、治療に要する時間や食事制限などは生じるものの、できるだけそれ以前の生活を維持したい、合併症のない人生でありたいなどと望むのではないのでしょうか？私た

どこで食い止めるか！



図① 早期発見早期治療が大切です

指導により腎機能低下速度が緩やかになった



図② 早めに指導を受けて腎機能悪化を防ごう！

ちは、その希望を支え、その方法を一緒に探っていくたいと考えています。**検査教育入院**では慢性腎臓病の方を対象にして、1週間の入院で医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士による指導が受けられます。また入院中にご自分では気づいておられない夜間の無呼吸症状や、血圧変動なども測定し腎臓病の悪化因子を見つけてお手伝いをさせていただきます。(図①)

適切な薬剤や腎機能に応じた服用量の提案をさせていただきます。前回もお話ししましたように、市販薬でも腎臓に影響のあるものや、腎機能の低下した患者さんでは、減量しなければならぬものもあります。多職種による指導を受けていただくことで腎機能の悪化速度を緩めることができれば、末期腎不全に至らないことを共に喜ぶことができるのではないかと思います。(図②)

関心のある方は、是非お問い合わせください。お目にかかれることを楽しみにしています。

ホスピタルインフォメーション

G H棟 新棟完成に期待する事

センター機能の集約・充実を

令和2年2月1日にGH棟の竣工式が行われ、2月中旬から新しい病棟も順調に稼働しています。

何よりも古かったC棟・D棟から、広々としてきれいな病棟になり、患者さん・家族のアメニティが各段に改善されました。また現場の医師、看護師、薬剤師等全てのメディカルスタッフが気持ちよく働ける環境が整ったと思います。

G H棟の完成により、消化器センター／呼吸器センター／脳卒中センターの内科と外科がA棟とGH棟で同じ階で繋がりました。その御蔭で、センター機能が集約化され、充実してゆくことが期待できます。消化器センター

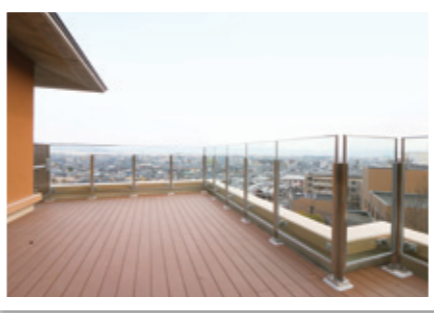
G 5 / H 5病棟が消化器外科のA 5病棟と同じ階で繋がっており、これまで以上に緊密に連携を取り易くなり、術前術後に患者さんのベッドサイドへも足を運び易くなりました。更にG 5病棟では癌の化学療法を腫瘍内科と協力して、より効果的に安全に施行できるようにと考えています。

今年の4月からは、最上階のH 6病棟で「緩和病棟」がオープンします。京都市内を見渡せる素晴らしい眺望を具えた病棟です。京都府の「がん診療連携拠点病院」として、多くのがん患者さん

の診断／治療を行っている京都桂病院に緩和病棟ができる事は、医師・看護師・全てのメディカルスタッフが期待し、それ以上に患者さん／家族が待ち望んでおられたと思います。

しかし、問題点もあります。坂に沿って建て増しされたGH棟は外来、内視鏡超音波センター、MRI検査からの動線が長いことです。勿論予想は出来ていたことですが、実際に稼働しだすと色々大変です。消化器内科で言えば、外来中／内視鏡・超音波検査中にG 5 / H 5病棟からコールがあつても病棟に行くだけでかなりの時間が取られます。病棟からは入院患者さんの検査出し（内視鏡検査／処置、腹部超音波検査／処置等）で看護師・助手さ

京都市内を見渡せる眺望を具えた緩和病棟



副院長
消化器センター所長 兼務
國 立 裕 之

新たに完成され、より機能的になったGH棟



産科病棟が リニューアルオープンしました



産婦人科 部長
藤井 剛



2020年2月にいよいよ新病棟G棟・H棟が完成しました。G棟・H棟には内科系診療科、リハビリ科、緩和ケア科が移転・新設されます。その中でわが産科病棟もH棟3階に引っ越しました。H棟3階で産科専用のエリアは分娩室2つと10床のベッドのほか、新生児室、談話室などがあり、それぞれのスペースは旧病棟のそれより広くよりゆとりのある、全体に明るい作りとなっております。分娩室は2つあり、同時に2件の分娩の扱いが可能です。新生児室のとなりに独立して面会室があり、ご家族と赤ちゃんが安心して触れ合う場所を設定しています。同じH棟3階には小児科も併設されてお

り、これまで以上に小児科との連携を強めて赤ちゃんのサポートをいたします。その他、これまで産婦人科で行っていた出産準備教室も病棟内の部屋を使用して行います。当院はもともと小高い土地にありますが、産科の病室と談話室からの眺めは大変よくて、愛宕山く比叡山く京都府中心部を一望することができます。産科病棟の見学は開院時間帯には随時受け付けておりますので産科スタッフに気軽にお声かけ下さい。

当院での出産の特徴は総合病院ならではの、小児科、精神科、内科などを含む多くの専門科がバックアップする安全な出産と考えております。これまで出産されたお母さんに任意でアンケートに協力頂いており、次回出産されると

きも当院を選んで頂けるかどうかについて約8割の方が、再度当院を選びたいと評価頂いております。このたびハード面では最新の設備が整ったと自負しておりますが、今後はソフト面でも高度な医療に対応すべく、改善を重ねて地域の中核病院として貢献できるように努めます。皆様のまわりに妊娠中または妊娠を考えておられる女性がおられれば、ぜひ当院での分娩をお勧めください。

り、これまで以上に小児科との連携を強めて赤ちゃんのサポートをいたします。その他、これまで産婦人科で行っていた出産準備教室も病棟内の部屋を使用して行います。当院はもともと小高い土地にありますが、産科の病室と談話室からの眺めは大変よくて、愛宕山く比叡山く京都府中心部を一望することができます。産科病棟の見学は開院時間帯には随時受け付けておりますので産科スタッフに気軽にお声かけ下さい。

り、これまで以上に小児科との連携を強めて赤ちゃんのサポートをいたします。その他、これまで産婦人科で行っていた出産準備教室も病棟内の部屋を使用して行います。当院はもともと小高い土地にありますが、産科の病室と談話室からの眺めは大変よくて、愛宕山く比叡山く京都府中心部を一望することができます。産科病棟の見学は開院時間帯には随時受け付けておりますので産科スタッフに気軽にお声かけ下さい。



産科病棟が移設された新病棟H棟



ゆったりとした
スペースのある
分娩室



明るくて
眺めのいい
談話室

急性期におけるリハビリテーションを 安全に提供するための取り組み

リハビリテーション科 理学療法士
科長 原 弘明



リハビリテーション(リハ)センターは2020年2月より新棟1階に移転しました。新しいリハ室は急性期リハを安全に行うための工夫を盛り込みました。新しいリハ室の紹介と我々が進めている新しい取り組みについても紹介いたします。

新しいリハ室はA棟1階のギャラリを過ぎた先にあります。展示されている絵画を観ながらお進みいただくリハ室となります。静かで広い廊下と中の様子を見ることが出来る大きな窓が特徴のリハ室



ゆったりと中の様子
を見ることが出来る
大きな窓が特徴のリハ室



3レーン中1つは京都府下でも
一部の病院しか導入していない
免荷歩行装置を設置

窓が入り口前の特徴です。リハ室内に診察室があり、リハ医がそばにいる室内は大きな安心につながります。さらに入り口から3つのレーンで区切られた歩行路は直線で30mの長さがあり、直結する屋外の歩行路とあわせると約100mの歩行が可能となります。その内の1レーンには免荷歩行装置を設置しており、患者さんへの負担を最小限にして早期より安全に歩くことが可能となりました。この機器は京都府下でも一部の病院しか導入しており、

急性期病院での導入は当院が初となります。

さらに我々は2016年に開始した取り組みを拡大しました。2019年9月より特定の病棟にご入院された患者さんに対して、筋力や体力といった動くための機能(運動機能)の低下を予防するための取り組みで運動機能が低下して医師がリハを必要と認めた患者にとどまらず、病棟に専従配置したリハ専門職が無理の無い運動の提案や安全なベッド環境の設定、動き方の工夫などのリハサポートを、入院患者さんごに提供しています。ADL維持向上等体制加算という取り組みです。

我々の行うリハ医療は患者さんの生活を改善することを目的とした医療です。健康寿命の改善と質の高い生活をお送りいただけるようにリハ医、セラピスト、サポーターが一丸となって取り組んでいます。新病棟の移転にあわせて、リハビリテーション機能のさらなる強化をはかってゆきたいと考えています。



室内・室外歩行路を合わせ
約100mの歩行が可能

